

- 問1 フランス革命期には、王政が廃止される過程でルイ16世やマリー・アントワネットといった人物が、ギロチンによる公開処刑に処されました。かつて「ルイ15世広場」と呼ばれていた場所が、革命の混乱の終結後、凄惨な記憶を乗り越えて市民が互いに手を取り合う「和解」や「一致」を願って現在の名称に改められましたが、その広場の名称として正しいものを、次のうちから選びなさい。（2025年 山梨県公立入試 類似）
1. ヴァンドーム広場
 2. コンコルド広場
 3. パステュー広場
 4. テルトル広場
- 問2 出雲の阿国が始めたと言われる芸能が、「國女歌舞妓絵詞」に描かれているように当時の人々に広く受け入れられ、のちに伝統芸能へと発展していった歴史的な背景として、最も適切な説明はどれですか。（2015年 長野県公立入試 類似）
1. キリスト教の布教とともに伝わった西洋の演劇技法が、日本古来の踊りと融合したため。
 2. 寺子屋の普及によって文字が読めるようになった民衆が、自ら台本を書いて上演するようになったため。
 3. 江戸幕府が武士の教養としてこの芸能を奨励し、儀式用の音楽として採用したため。
 4. 戦乱が収まり社会が安定したことで、都市の町人を中心とする民衆が新しい文化の担い手となったため。
- 問3 江戸時代後期、ロシアなどの外国船が日本近海に現れるようになったことで、幕府の対外政策は変化していきました。1825年に出された「異国船打払令」の背景や内容として、最も適切な説明はどれですか。（2026年 大阪府公立入試 類似）
1. ペリーの来航を受け、それまでの鎖国政策を維持するために、すべての外国船との交渉を拒否することを改めて決定した。
 2. 隣国の清がアヘン戦争で敗北したことを受け、外国船に対して燃料や水を与えるなどの柔軟な対応をとるよう方針を転換した。
 3. 間宮林蔵が樺太が島であることを確認した結果、北方領土への外国人の立ち入りを一切禁止し、武力による開拓を優先した。
 4. ロシア使節ラックスマンの来航などを経て、日本近海に現れる外国船を、理由を問わず砲撃して追い返すという強硬な姿勢を示した。
- 問4 江戸時代の文化に関する記述のうち、葛飾北斎に代表される「浮世絵」の特徴と、それが後世に与えた影響について正しく説明しているものはどれですか。（2018年 佐賀県公立入試 類似）
1. 仏教の教えを分かりやすく伝えるための宗教画として誕生し、主に寺院や神社の壁画として描かれる一点物の芸術であった。
 2. 寺子屋で学ぶ子供たちの教科書の挿絵として発展し、教育水準の向上には貢献したが、海外の芸術文化には全く知られなかった。
 3. 木版画の技術によって安価で大量に生産されたため、庶民の娯楽として普及し、後にヨーロッパの画家にも大きな影響を与えた。
 4. 雪舟が確立した水墨画の伝統を重んじ、幕府の儀式や公式行事の記録として、支配階層の間でのみ大切に保管された。
- 問5 17世紀に来日した外国人の日記には、三代将軍徳川家光の時代に、幕府から許可証を得て貿易を行っていることや、拠点を平戸から長崎の出島に移さなければならない状況が記されている。このように、幕府が貿易を長崎の出島に限定し、厳しい統制を行った主な理由は何か。（2026年 岡山県公立入試 類似）
1. スペインやポルトガルの軍勢力を利用して、国内の反乱勢力を抑え込むため
 2. 鎖国によってすべての外国船の来航を禁止し、日本独自の文化のみを育成するため
 3. キリスト教の日本国内への広まりを防ぎつつ、海外の物資や情報入手するため
 4. 日本人の海外渡航を奨励し、オランダの技術を用いた植民地支配を進めるため
- 問6 江戸時代中期以降、農村において自給自足の生活から貨幣を用いた経済活動へと変化した主な要因として、適切なものはどれですか。（2018年 山形県公立入試 類似）
1. 綿や菜種などの商品作物の栽培が盛んになったこと
 2. 年貢の負担が大幅に軽減され、農村に余剰資金が生まれたこと
 3. 幕府が農村での自給自足を法律によって厳格に強制したこと
 4. 貨幣の使用が禁止され、農村部で物々交換が中心になったこと
- 問7 江戸時代の元禄文化期における絵画や浮世絵の特徴について述べた文章として、最も適切なものはどれですか。（2021年 宮崎県公立入試 類似）
1. 菱川師宣が「見返り美人図」などを描き、庶民の生活や風俗を題材にした絵画として広まりました。
 2. 喜多川歌麿が「見返り美人図」を描き、明治時代に西洋画の技法を取り入れた独自の作品を残しました。
 3. 黒田清輝が「見返り美人図」を描き、安土桃山時代を代表する絵師として活躍しました。
 4. 狩野永徳が城郭の壁画として「見返り美人図」を描き、武士の威光を示す豪快な画風を確立しました。
- 問8 1689年のイギリスにおいて、名誉革命の結果として制定された法律について説明した文章として正しいものはどれですか。この法律は、議会の尊重することを条件に新たな国王を迎える際に認めさせたものです。（2023年 富山県公立入試 類似）
1. 権利の章典を認め、国王の権限を制限して議会の優位を確立した。
 2. アメリカ独立宣言を発表し、イギリスからの独立と専制政治への抵抗権を主張した。
 3. フランス人権宣言を採択し、自由・平等・私有財産の不可侵を認めた。
 4. 大憲章（マグナ・カルタ）を制定し、貴族たちが国王の徴税権を制限した。
- 問9 19世紀初めの文化・文政期（11代将軍徳川家斉の時代）を中心に栄えた「化政文化」の特徴として、最も適切な説明はどれですか。（2026年 滋賀県公立入試 類似）
1. 足利義満の時代に、公家文化と武家文化が融合して生まれた金閣に代表される文化
 2. 政治の中心地である江戸を中心に、浮世絵や滑稽本などの娯楽が広まった庶民的な文化
 3. 京都や大坂（上方）の町人を担い手とし、井原西鶴や近松門左衛門らが活躍した文化
 4. 聖徳太子の時代に、大陸の影響を受けて飛鳥地方で発展した仏教文化
- 問10 江戸時代中期の老中、田沼意次が行った経済政策の説明として、最も適切なものを選択してください。（2021年 三重県公立入試 類似）
1. 商工業者が結成した「株仲間」を積極的に公認し、営業の独占権を与える代わりに運上金や冥加金といった税を徴収した。
 2. 貨幣の質を大幅に落として流通量を増やすことで、物価を抑制しつつ幕府の改鋳利益を増やす政策を推進した。
 3. 極端な倹約令を出して武士や民衆の生活を厳しく制限し、支出を抑えることで幕府の財政を立て直そうとした。
 4. 「公事方御定書」を制定して裁判の基準を明確に定め、役人の不正を厳しく取り締まることで政治の腐敗を防ごうとした。
- 問11 19世紀の日本において、地主や商人が自ら作業場を設け、そこに賃金労働者を集めて、分業と手作業による共同作業で製品を効率的に生産する仕組みが普及しました。この生産形態を何と呼びますか。（2024年 岡山県公立入試 類似）
1. 工場制機械工業
 2. 問屋制家内工業
 3. 地主手工業
 4. 工場制手工業
- 問12 聖武天皇が遺品を納めさせた「正倉院」、足利義政が建立した「銀閣」、千利休が手がけた茶室である「待庵」、徳川家康を祀る「日光東照宮」の4つの建造物を、完成した時期が古い順に並べたものはどれか。（2020年 岩手県公立入試 類似）
1. 日光東照宮 → 待庵 → 銀閣 → 正倉院
 2. 銀閣 → 正倉院 → 日光東照宮 → 待庵
 3. 正倉院 → 待庵 → 銀閣 → 日光東照宮
 4. 正倉院 → 銀閣 → 待庵 → 日光東照宮

答え合わせ・解説

問1	答え 2 コンコルド広場	18世紀末のフランス革命では、絶対王政が打倒され、多くの王族や貴族が処刑される恐怖政治が行われました。その主要な舞台となったのがこの広場です。革命後、フランス語で「調和・和解」を意味する「コンコルド」という名前に変更された背景には、暴力による対立を終わらせ、国民の融和を図るという政治的な意図が込められていました。
問2	答え 4 戦乱が収まり社会が安定したことで、都市の町人を中心とする民衆が新しい文化の担い手となったため。	安土桃山時代から江戸時代初期にかけては、戦乱が終息に向かい経済が活性化した時期でした。これにより、京都や堺などの都市で力をつけた町人（民衆）が、自分たちの娯楽を求めるようになったことが背景にあります。この時期の文化は、それまでの宗教的・特権階級的な性格から、より世俗的で活気ある民衆文化へと変化していきました。
問3	答え 4 ロシア使節ラックスマンの来航などを経て、日本近海に現れる外国船を、理由を問わず砲撃して追い返すという強硬な姿勢を示した。	18世紀末にロシアのラックスマンが根室に来航して以降、イギリスやアメリカの船も日本近海に頻繁に現れるようになりました。これに対し幕府は、1825年に異国船打払令（無二念打払令）を出し、日本に近づく外国船を無条件で追い払うという排他的な方針を打ち出しました。選択肢にあるアヘン戦争後の対応は、逆にこの方針を緩和した「薪水給与令」の説明であり、時系列が異なります。
問4	答え 3 木版画の技術によって安価で大量に生産されたため、庶民の娯楽として普及し、後にヨーロッパの画家にも大きな影響を与えた。	江戸時代後半の浮世絵は、木版画によって大量生産が可能だったため、蕎麦一杯程度の値段で庶民が手軽に購入できる娯楽でした。19世紀後半になると、輸出された陶磁器の包み紙に使われていた浮世絵などがヨーロッパに渡り、その大胆な構図や色彩がゴッホやモネといった印象派の画家に強い衝撃を与え、ジャポニスムという流行を生み出しました。
問5	答え 3 キリスト教の日本国内への広まりを防ぎつつ、海外の物資や情報を入手するため	江戸幕府はキリスト教の浸透が封建的な支配体制を揺るがすことを警戒していました。そのため、貿易の窓口を長崎の出島という隔離された場所に限定し、外国人の行動を監視することで布教を完全に阻止しようとした。同時に、貿易による利益や「オランダ風説書」を通じた海外情勢の把握は継続したいという意図がありました。
問6	答え 1 綿や菜種などの商品作物の栽培が盛んになったこと	江戸時代中期になると、都市の発展に伴い、綿、菜種、茶といった「売ることを目的とした作物（商品作物）」の栽培が農村で広がりました。農民はこれらの収穫物売って現金を得るようになり、その貨幣で肥料や生活用品を購入するようになったため、農村経済に貨幣経済が深く浸透していきました。
問7	答え 1 菱川師宣が「見返り美人図」などを描き、庶民の生活や風俗を題材にした絵画として広まりました。	元禄文化の時期には、菱川師宣によって浮世絵が始まり、「見返り美人図」などの作品を通して庶民の関心を集めました。浮世絵は、当時の庶民の生活や風俗、流行などを題材に描かれた絵画です。
問8	答え 1 権利の章典を認め、国王の権限を制限して議会の優位を確立した。	イギリスでは、議会を無視した政治を行おうとした国王が追放される名誉革命を経て、「権利の章典」が制定されました。これにより、国王が議会の同意なしに法律を停止したり、課税を行ったりすることが禁じられ、議会政治が本格的に始まることとなりました。なお、フランス人権宣言は18世紀末のフランス革命、独立宣言はアメリカ独立戦争の際に出されたものです。
問9	答え 2 政治の中心地である江戸を中心に、浮世絵や滑稽本などの娯楽が広まった庶民的な文化	化政文化は、江戸時代後期の文化・文政期に発展しました。17世紀末の元禄文化が京都や大坂を中心としていたのに対し、化政文化は「江戸」を中心としたのが大きな特徴です。寺子屋の普及などによって庶民の教育水準が上がったこともあり、一部の知識層だけでなく、広く庶民が担い手となったことで、生活に密着した娯楽性の高い作品が多く生み出されました。
問10	答え 1 商工業者が結成した「株仲間」を積極的に公認し、営業の独占権を与える代わりに運上金や冥加金といった税を徴収した。	田沼意次は、それまでの米の増産に頼る幕府の財政再建策に行き詰まりを感じ、発展していた貨幣経済に着目しました。商工業者が結成した「株仲間」を積極的に公認し、市場の独占を認める対価として、運上金や冥加金といった商工業の利益に基づいた税を徴収することで、幕府の新たな収入源を確保しようとしたのが特徴です。
問11	答え 4 工場制手工業	資本家が労働者を一箇所に集め、手作業を前提としながらも工程を細かく分ける「分業」を取り入れることで生産性を高めた形態です。カタカナでマニユファクチュアとも呼ばれ、資本主義的な生産体制の初期段階にあたります。
問12	答え 4 正倉院 → 銀閣 → 待庵 → 日光東照宮	正倉院は奈良時代（8世紀）、銀閣は室町時代（15世紀）、待庵は安土桃山時代（16世紀）、日光東照宮は江戸時代（17世紀）にそれぞれ完成・改築されています。それぞれの建造物は、天皇による鎮護国家の時代、武士による東山文化の時代、戦国から統一へ向かう茶の湯の時代、そして幕府権力を象徴する時代という、各時代の特色を反映しています。